

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		桜川市地域雇用創造協議会支援事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040201001003
						単独/補助	単独	所属課	050301
政策体系	総合計画の施策名	0402 商工業の振興						課長名	商工観光課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり						グループ	商工観光グループ
	施策名	02 商工業の振興						担当者名	
	手段名	01 ①商工業の振興							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	05	01	01	01	00	労働諸費事業		
法令根拠	桜川市地域雇用創造協議会補助金交付要項					期間限定複数年 (平成29年度～令和元年度)			
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>雇用機会が不足している地域における自発的な雇用創造の取り組みを国が支援するものであり、実施において国から桜川市地域雇用創造協議会に委託されている。</p> <p>具体的には、地場産業の石材業や農業を重点分野とし、各種セミナーの開催、グリーンツーリズムの推進、ヤマザクラ関連新商品などを通じて雇用の創出を目指す事業。</p> <p>市としては協議会の運営が円滑に進むよう多方面からサポートを行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 市広報誌等へセミナー開催情報の掲載。 セミナー開催に伴う市施設の提供。 協議会運営会議への参加など。 厚生労働省との各種調整。 就職面接会運営の補助。 	

①手段 (担当者の活動内容)							④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 市広報誌等へセミナー開催情報の掲載。 セミナー開催に伴う市施設の提供。 協議会運営会議への参加など。 厚生労働省との各種調整。 就職面接会運営の補助。 市補助金支払いの手続き。 							運営調整会議への参加日数			12.00	12.00	0.00	0.00	0.00
							就職面接会への参加日数			4.00	4.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)							⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
協議会、地域求職者など。							桜川市生産年齢人口			24,500.00	24,200.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	
										0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)							⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 協議会運営の円滑化。 求職者の就職、創業希望者の創業。 							就職者数・創業者数			34.00	38.00	0.00	0.00	0.00
										0.00	0.00	0.00	0.00	
										0.00	0.00	0.00	0.00	

③ 投入量 (事業費) の推移							30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定 総投入量
投 入 量	事 業 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	116	500	0	1,616		
			事業費計 (A)	千円	116	500	0	1,616		
		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	0.00人				

事 業 費 の 内 訳	01年度事業費 実績 (千円)				02年度事業費 予算 (千円)			
	19 負担金補助及び交付金	500						
			合 計	500			合 計	0

事務事業名	桜川市地域雇用創造協議会支援事業	事務事業No.	40201001003	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 桜川市における雇用の確保を目指し、協議会組織を立ち上げ平成29年度から運営している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 就職に結びつく実践的な各種セミナーが参加者から好評となっている。一方で、創業希望者からは、セミナーだけではなく開業までのトータル的なサポートを要望している方もいる。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	雇用の創出という市の重要課題において、広く政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	協議会の円滑な運営は、地域雇用の創出に直結するものであり、妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	当初の計画どおり実施する必要があり、成果を向上させる余地はない。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	雇用の創出については長年の課題であり、協議会だけでなく行政のサポートは必要である。
有 効 性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	国からの受託事業であり統廃合はできない。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	協議会のフォローが必要であり削減はできない。
効 率 性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市内の求職者が対象であり、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	事業最終年であった。円滑に事業を行い、終了することができた。																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持	○	X	X	低下	X	X	X
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持	○	X	X																		
	低下	X	X	X																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果	②																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> C A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		3ヶ年期限であり、当初の目標は達成されたと思われる。	
		確認欄	確認